

第4回リレー式授業改善協議会

平成26年10月28日(火)
コンパルホール 多目的ホール

1 講演 「コミュニケーション能力の育成を目指して ～自立した学習者を育てる～」

講師 文部科学省初等中等教育局視学官 太田 光春 氏

《実業高校における英語科授業》DVD

- ・生き生きと英語でペア学習。全体でディスカッション。楽しそうに友達に英語で話す姿。
- ・実業高校でもこんな授業が行われている。付けたい力を明確にし、教育課程が変わっている。

《英語授業の現状》

- ・戦後69年、学習指導要領に沿った英語がきちんと行われていない。世の中に存在しない受験英語を行っている。日本の子どもたちの意識は低く自信をなくし、学校は学びの使命を果たしていない。
- ・授業の主役が生徒ではなく教師にある場合が多い。

《教育の目的について》

- ・教育の目的は人格の形成にある。つまり他人との比較ではなく、自分自身の中での比較である。自分の持ち味を活かしつつ、社会貢献できる人間を育てること。
- ・今までの学校の知識・理解は社会で使えない。社会にでると正解がない。自ら思考・判断することばかり。そういう経験を学校でもさせなければならない。
- ・英語科でいうと、英語を学び続ける人を育ててほしい。主体的に学習に取り組む人。どうすれば学べるか真剣に考えなければならない。先生方自身も主体的に学ぶ教師であって欲しい。

《評価について》

- ・聞いて・読めて・話せるのかきちんと評価してあげなければならない。ペーパーテストのみで評価する等ありえない。プロとして失格！

《授業改善のポイント》

- ・成功体験を重ねる授業。学ぶ達成感を味わえるもの。ゴールが明確で意図的な学びが必要。授業の質を高める。20年後、世界は英語でつながっている。そのための生徒を育てる。

《英語とは・・・》

- ・コミュニケーションの一つ。訳す必要はない。人とのつながりの中で使うもの。間違ふことを恐れず使う。あいまいな中で使い、それが少なくなる。生徒のためにぜひ英語の授業づくりに力を注いで欲しい。

2 実践発表 「英語科の授業改善」 ①豊後高田市立高田中学校 指導教諭 北迫 美和 氏

②佐伯市立佐伯城南中学校 指導教諭 神田 信司 氏

- ・②では、H25年度の授業を発表。地域の『柿の葉寿司』を題材に紹介文を書く活動を実践。
- ・佐伯市ネットワーク会議の中で学んだ小学校国語科での単元を貫く言語活動を英語科の授業にも導入。

3 説明 「学力調査を受けて、組織的に取り組む授業改善」 義務教育課 小田指導主事

- ・大分県の現状。新大分スタンダードについて。改善のポイントと新大分スタンダードのつながり。
- ・英語科における問題解決的な授業の展開について